

短 報

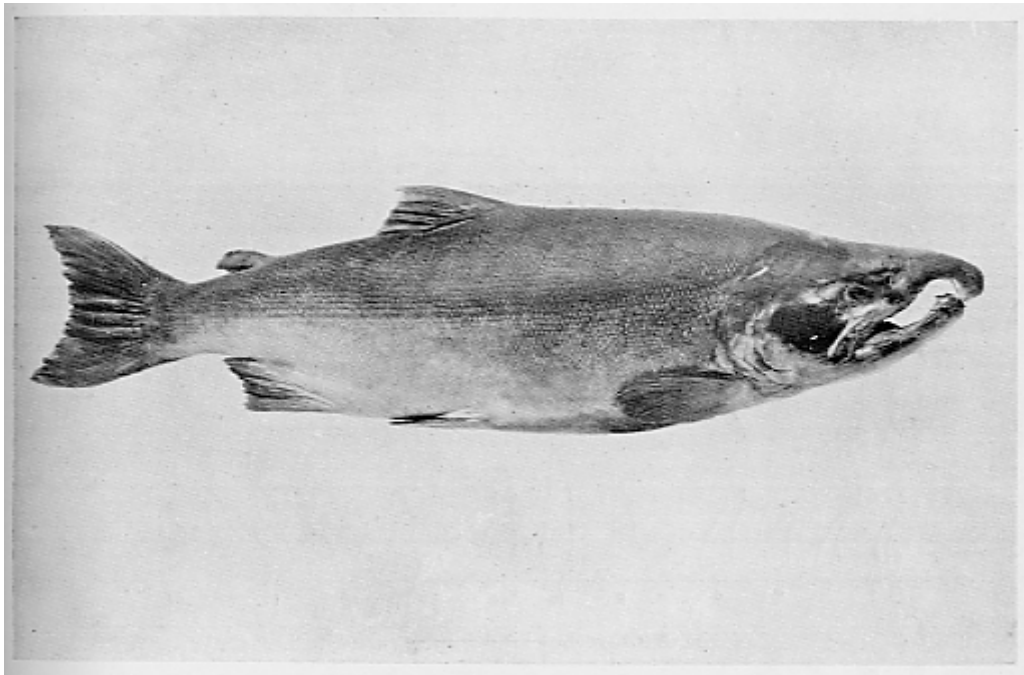
北海道の河川に遡上した銀鱒らしき一例

太平洋に産する鮭科 (Salmonidae) の鮭属 (Oncorhynchus) に含まれるものに6種類ある。鮭科魚類の分類については、古来より、御互の種類が非常に類似しているため、面倒なもの一つになっている。即ち現在迄この科に属する魚種は、主に外部形態、鱗条数、鰓条骨数、鰓耙数及びその形状、幽門垂数及びその形状、斑点の状態等によつて識別されているが、此等の何れも、各種によつて、かなり変異の中があり、又それ等の変異の中が魚種により重複する部分が多いので、他の魚類に於ける如き、はつきりしたメルクマールに貧しい。此等鮭類の内でも、北太平洋、アラスカ、カムチャツカに普通で、かなりの産額をあげている。銀鱒 (Oncorhynchus kisutch) と日本近海に特に多く、北米方面に産しない桜鱒 (Oncorhynchus masou) との分類に就いては、研究者に依つても非常に困難をきたしている。と同時に両者の分布に就いても、色々の様に思はれる、1902年に Jordan 博士は、北海道でも銀鱒が見られたと記載しているが、後になつて、この銀鱒は桜鱒であつた事を訂正している。田中茂穂博士は、両種は特徴が少いから、これ等両種は地理的変異として、同一種にすべき事を主張して居られる。Soldatov と Lindberg (1930) はこの両種の区別点は殆んどなく、分類の困難性を認め、これ等両種を区別するには、もつと生態を調べなければならぬ事を強調している。Walford (1931) は鱒之助と比較して居り Schultz (1935) は前者と同様な比較をこゝろみ、簡単な記載をのせている。又岡田篤氏 (1939) は旧日本領、北千島の銀鱒について、その鱗相より生態を究明している。又岡田氏及び川村氏 (1938) は O. masou と O. kisutch の識別は鰓耙の数と形状及び鱗相の差異が最も明らかであるとして、O. masou との比較を記載している。此処に報告する標本は昭和29年9月10日、午前7時頃、オホーツク海に注ぐ渚滑川本流、河口より約1.6軒上流の曳網で鮭、鱒に混つて採集されたものをホルマリン液漬にしたものである。魚体は外形的に産卵のため遡河せる、他鮭類と同様な二次性徴を有する、全長69.6cmの雄魚で、精巢も大きく成熟していた。(写真版参照) 参考までに採集した時の状態を、孵化場経験者の報告通り書いて見ると、体は銀白色を呈し、側面は淡紅色、背部より尾鰭にかけて疎に少数の斑点を有す、尾柄高は太い。となつて居る。ホルマリン標本のために婚姻色は消へたが、著者は、これと石狩産の桜鱒と比較して見たが、多くの研究者の報告している如く、実によく似ている事が分つた。しかし外形的にも尾柄は稍々太く、背面は鈍い暗色を呈し、背面、頭部、尾鰭上葉基部及び背鰭の基部附近に、黒色小斑点が散在している。斑点は鱒の如く多くなく、鱒のそれより、やゝ大きい。鱒の如く明瞭ではない。背鰭14; 臀鰭18; 側線鱗数132 (左右共); 鰓条骨数13; 鰓耙数21 (左側); 22 (右側); 幽門垂54; である。上の測定結果より、岡田氏の測定と比較すると、幽門垂の数及び形状、鰓耙数、尾柄高、鰓条骨数は完全に一致している。側線鱗数も殆んど同じである。此の標本では背鰭、臀鰭数はやゝ異なるが、岡田氏のは発達せるものゝみを数へているようである。尚桜鱒では腹鰭が通常9軟条であるが、この標本の腹鰭は左右共11軟条であつた。鰓耙数は両者共重複しているが、その形を見ると、図に見る様な差異がある、即ち鱒では各鰓耙は短小であり、配列は疎である。銀鱒のそれは比較的細長である。次に鱗の形状、露出部の構造も相異して居る。この銀鱒の鱗を見ると、明らかな河川帯があり、一年以上河川に棲んでいた事を示し、その後海中で二回の冬を越した四年魚である事が分つた。

Soldatov と Lindberg が銀鱒の分布に就いて、北海道が南限であるとしているが、今迄詳細な事に就いては以前より不明であつた。最近に至り、良く銀鱒の捕られた事を聞くが、此等の事柄を総合してみても、或いは迷つて来たものではないかと思はれるが、遊楽部でも数尾これに類似の鱒がとれたと報告されている。若し、これが事実とするならば、非常に面白い事なので一応紹介した次第である。

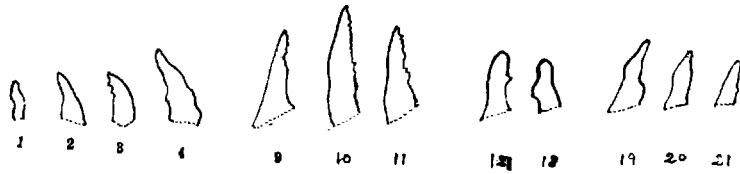
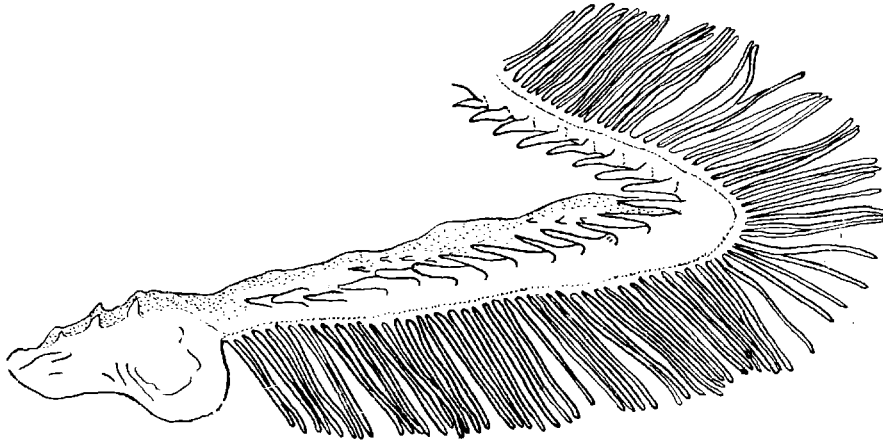
最後にこの標本を作成された、北見支場管内、渚滑事業場の須藤技官に深甚なる謝意を表する次第である。

北海道さけ・ます・ふ化場・調査課 元田豊彦

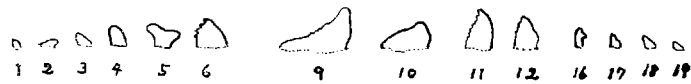
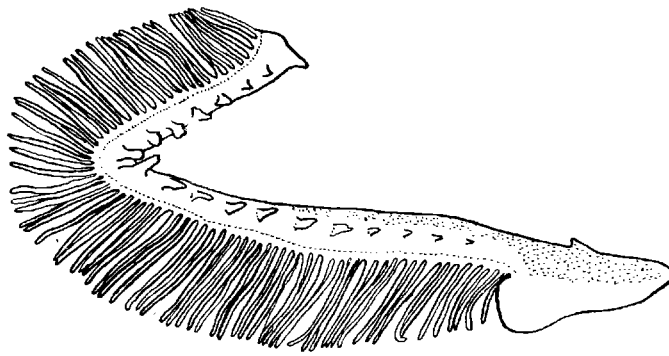


渚滑川で捕られた「銀鱈」

鰓耙の構造を示す



銀鱒 (Oncorhynchus kisutch) 清滑川にて採捕



桜鱒 (Oncorhynchus masou) 石狩川河口にて採捕

番号は上から数へた鰓耙番号を示している。